

ユニットコンピテンス		卒業コンピテンスに対する達成レベル (内分泌・代謝・老年医学ユニット)
Ⅲ. 医学および関連領域の知識と応用		
千葉大学医学部学生は、卒業時に 医学・医療の基盤となっている以下の基礎、臨床、社会医学等の知識を有し、応用できる。		
1	<p>人体の構造と機能</p> <p>1-1. 動脈硬化症の発症機序と診断方法を説明できる。</p> <p>3-1. 血糖調節のメカニズムを説明できる。</p> <p>3-2. インスリン分泌機序を説明できる。</p> <p>3-3. インスリン作用を説明できる。</p> <p>6-1. 視床下部・下垂体の解剖学的構造が説明できる。</p> <p>6-2. 視床下部ホルモンによる下垂体前葉ホルモンの分泌調節機構が説明できる。</p> <p>7-1. 副甲状腺ホルモンとVitamin Dによる骨・腎でのカルシウム代謝を説明できる。</p> <p>8-1. 副腎の解剖学的構造と画像診断におけるMRIの特徴を説明できる。</p> <p>9-2. 加齢に伴う臓器の構造と機能の変化を説明できる。</p>	B
2	<p>発達, 成長, 加齢, 死</p> <p>9-1. 高齢者の心理・精神の変化を理解し, 対応できる。</p> <p>9-2. 加齢に伴う臓器の構造と機能の変化を説明できる。</p> <p>9-3. 高齢者における病態・症候・治療の特異性を説明できる。</p> <p>9-9. 高齢者のターミナルケアおよび死について理解する。</p>	
3	<p>心理と行動</p> <p>9-1. 高齢者の心理・精神の変化を理解し, 対応できる。</p>	C

基盤となる知識の修得が単位認定の要件である (Basic)

ユニットコンピテンス		卒業コンピテンスに対する達成レベル (内分泌・代謝・老年医学ユニット)	
4	<p>病因と病態</p> <p>1-1. 動脈硬化症の発症機序と診断方法を説明できる。</p> <p>1-2. 動脈硬化症の危険因子を説明できる。</p> <p>1-4. 動脈硬化症における高脂血症の意義を説明できる。高脂血症の発症機序兎唇団方法を説明できる。</p> <p>1-5. 家族性高脂血症の病的意義を説明できる。</p> <p>1-6. 高脂血症治療の意義を説明できる。</p> <p>2-2. 肥満症の定義と診断法を説明できる。</p> <p>2-3. 肥満症の発症機序を説明できる。</p> <p>2-4. 動脈硬化症における肥満症の意義を説明できる。</p> <p>3-4. インスリン抵抗性の病態を説明できる。</p> <p>3-6. 糖尿病の分類について説明できる。</p> <p>3-7. 1型と2型糖尿病の違いを説明できる。</p> <p>3-8. 1型糖尿病の成因を説明できる。</p> <p>3-9. 2型糖尿病の成因を説明できる。</p> <p>3-10. 遺伝子異常による糖尿病について説明できる。</p> <p>3-11. 二次性糖尿病をおこす病態を説明できる。</p> <p>4-1. 糖尿病網膜症, 腎症, 神経障害, 大血管症について説明できる。</p> <p>4-2. 糖尿病合併症の成因を説明できる。</p> <p>4-3. 糖尿病合併症の病期分類を説明できる。</p> <p>4-5. 糖尿病患者における急性合併症について説明できる。</p> <p>6-3. 末端肥大症患者の成長ホルモン過剰と下垂体腫瘍に伴う臨床症状が説明できる。</p> <p>6-5. 尿崩症の病因と治療法を説明できる。</p> <p>6-6. Graves' 病の病因と破壊性甲状腺炎の病態の差を説明できる。</p> <p>6-8. 甲状腺機能低下症について病態を説明できる。</p> <p>7-2. 副甲状腺機能亢進症の病態と治療について説明できる。</p> <p>7-3. 悪性腫瘍関連高カルシウム血症とPTH related-peptideについて説明できる。</p>	B	

ユニットコンピテンス	卒業コンピテンスに対する達成レベル (内分泌・代謝・老年医学ユニット)
<p>7-4. 骨粗鬆症の病態と治療について説明できる。</p> <p>7-5. 尿酸代謝と高尿酸血症の病態が説明できる。</p> <p>8-2. クッシング症候群の病態と臨床症状が説明できる。</p> <p>8-3. 原発性アルドステロン症の病態と臨床症状が説明できる。</p> <p>8-4. 褐色細胞腫の病態と臨床症状が説明できる。</p> <p>8-5. 多発性内分泌腺腫症（MEN 1 型， 2 型）について臨床的特徴が説明できる。</p> <p>8-6. 多発性内分泌腺腫症と遺伝子異常について説明できる。</p> <p>9-3. 高齢者における病態・症候・治療の特異性を説明できる。</p> <p>9-5. 遺伝性早老症の発症機序を理解し，臨床的特徴を述べることができる。</p> <p>9-6. いわゆる老年症候群について理解し説明することができる。</p> <p>9-7. フレイル・サルコペニアについて理解し，説明できる。</p> <p>10-1. 甲状腺腫瘍の診断法について説明できる。</p> <p>10-2. 甲状腺良性腫瘍，甲状腺癌の病態が説明できる。</p> <p>10-4. 甲状腺手術後の病態を説明できる。</p>	

ユニットコンピテンス	卒業コンピテンスに対する達成レベル (内分泌・代謝・老年医学ユニット)
IV. 診療の実践	
<p>千葉大学医学部学生は、卒業時に</p> <p>患者・生活者を尊重し、安全で質の高い診療を実施するために、以下のことが適切に実施できる。</p>	
<p>6 検査の必要性を判断し、検査結果を解釈できる。</p> <p>1-1. 動脈硬化症の発症機序と診断方法を説明できる。</p> <p>1-3. 動脈硬化症の一次予防および二次予防とその意義を説明できる。</p> <p>2-1. 肥満の評価法を説明できる。</p> <p>2-2. 肥満症の定義と診断法を説明できる。</p> <p>2-6. メタボリックシンドロームの診断と治療の意義を説明できる。</p> <p>3-5. 糖尿病の診断基準を説明できる。</p> <p>5-2. 糖尿病患者の食事療法、運動療法について説明できる。</p> <p>5-5. 血糖自己測定の方法を説明できる。</p> <p>5-8. インスリノーマの診断治療について説明できる。</p> <p>6-3. 末端肥大症患者の成長ホルモン過剰と下垂体腫瘍に伴う臨床症状が説明できる。</p> <p>6-5. 尿崩症の病因と治療法を説明できる。</p> <p>6-7. Graves病の治療について、適応と副作用について説明できる。</p> <p>7-2. 副甲状腺機能亢進症の病態と治療について説明できる。</p> <p>7-3. 悪性腫瘍関連高カルシウム血症とPTH relatedpeptideについて説明できる。</p> <p>7-4. 骨粗鬆症の病態と治療について説明できる。</p> <p>7-5. 尿酸代謝と高尿酸血症の病態が説明できる。</p> <p>7-6. 痛風と無症候性高尿酸血症の治療について説明できる。</p> <p>8-1. 副腎の解剖学的構造とホルモン産生調節機構、さらにはCT, MRI等の画像診断における特徴を説明できる。</p> <p>8-2. クッシング症候群の病態と内分泌検査や臨床症状の特徴が説明できる。</p>	<p>基盤となる知識の修得が単位認定の要件である (Basic)</p> <p>C</p>

ユニットコンピテンス		卒業コンピテンスに対する達成レベル (内分泌・代謝・老年医学ユニット)	
	<p>8-3. 原発性アルドステロン症の病態と内分泌検査や臨床症状の特徴が説明できる。</p> <p>8-4. 褐色細胞腫の病態と内分泌検査や臨床症状の特徴が説明できる。</p> <p>8-5. 多発性内分泌腺腫症 (MEN 1 型, 2 型) について臨床的特徴が説明できる。</p> <p>8-6. 多発性内分泌腺腫症と遺伝子異常について説明できる。</p> <p>9-3. 高齢者における病態・症候・治療の特異性を説明できる。</p> <p>9-4. 高齢者のQOL (生活の質) を考慮した上で患者の治療目標を個別に設定できる。</p> <p>9-5. 遺伝性早老症の発症機序を理解し, 臨床的特徴を述べることができる。</p> <p>9-7. 高齢者における総合機能評価 (CGA) を説明できる。</p> <p>10-1. 甲状腺腫瘍の診断法について説明できる。</p> <p>10-2. 甲状腺良性腫瘍, 甲状腺癌の病態が説明できる。</p> <p>10-3. 甲状腺腫瘍の手術適応・手術術式について説明できる。</p>		
10	<p>Evidence-based medicine (EBM) を実践できる。</p> <p>2-5. 肥満症の治療方針について説明できる。</p>	C	
11	<p>Shared decision making (SDM) を実践できる。</p> <p>1-3. 動脈硬化症の一次予防および二次予防とその意義を説明できる。</p> <p>1-6. 高脂血症治療の意義を説明できる。</p> <p>2-5. 肥満症の治療方針について説明できる。</p> <p>2-6. メタボリックシンドロームの診断と治療の意義を説明できる。</p> <p>2-7. 肥満症の治療効果について説明できる。</p> <p>4-4. 糖尿病合併症進行抑制のための血糖値のコントロール基準を説明できる。</p> <p>5-1. 糖尿病患者の血糖コントロールの指標について説明できる。</p>	D	

ユニットコンピテンス	卒業コンピテンスに対する達成レベル (内分泌・代謝・老年医学ユニット)
<p>5-2. 糖尿病患者の食事療法, 運動療法について説明できる。</p> <p>5-3. 糖尿病治療薬 (インスリン以外) の種類と作用について説明できる。</p> <p>5-4. インスリン療法の適応と注射法が説明できる。</p> <p>5-6. 特殊な病態の血糖コントロールについて説明できる。</p> <p>5-7. 糖尿病患者に合併する高血圧症, 高脂血症の治療について説明できる。</p> <p>6-4. 末端肥大症患者の治療法が説明できる。</p> <p>6-5. 尿崩症の病因と治療法を説明できる。</p> <p>6-7. Graves病の治療について, 適応と副作用について説明できる。</p> <p>7-2. 副甲状腺機能亢進症の病態と治療について説明できる。</p> <p>7-4. 骨粗鬆症の病態と治療について説明できる。</p> <p>7-6. 痛風と無症候性高尿酸血症の治療について説明できる。</p> <p>9-4. 高齢者のQOL (生活の質) を考慮した上で患者の治療目標を個別に設定できる。</p> <p>9-8. 高齢患者における薬物治療の注意点を理解し, 説明できる。</p> <p>10-3. 甲状腺腫瘍の手術適応・手術術式について説明できる。</p> <p>10-4. 甲状腺手術後の病態を説明できる。</p>	